

要防除水準(野菜)

作物名	病害虫名	調査時期	調査方法	要防除水準	防除時期	備考	都道府県
キャベツ(春まき栽培)	コナガ	定植期以降	フェロモントラップによる誘殺数及び5日間(前4日間を含む)のアメダスの平均気温	成虫数30頭以上さらに平均気温15℃以上が2日以上連続	2日後まで		北海道
キャベツ	コナガ	結球前	見取り調査	幼虫数が1株あたり1.3頭以上	即時	(要防除密度の目安)	兵庫県
キャベツ	食葉性害虫	定植期以降	見取り調査(約10株、7日間隔)	新食害痕数1個/株以上	即時		北海道
だいこん	キタネグサレセンチュウ	作付前	1圃場あたり任意の土壌30g×4ヶ所について、センチュウ数(ベールマン法)を顕微鏡により調査	土壌30gあたり1頭以上検出	即時		岡山県
だいこん	キタネグサレセンチュウ	播種前	ベルマン法(土壌25gあたり)	10頭以上	播種前		北海道
だいこん	ネグサレセンチュウ類	播種前	生土50gあたりのネグサレセンチュウ類の頭数を調査	生土50gあたり2~3頭	播種前		青森県
チンゲンサイ	コナガ	随時	見取り調査	1頭/10株以上	即時	(要防除密度の目安)	兵庫県
夏秋キュウリ	アブラムシ類	6月上旬~6月下旬	見取り調査、任意	葉当たり10頭以上の寄生葉率が10%	防除開始		福島県
きゅうり	ワタアブラムシ	随時	見取り調査	6頭/葉	即時	(要防除密度の目安)	兵庫県
きゅうり	ミナミキイロアザミウマ	随時	見取り調査	4頭/葉	即時	(要防除密度の目安)	兵庫県
きゅうり	ミナミキイロアザミウマ	全期間	成虫数、見取り(100葉)	4.0頭/葉	即時		宮崎県
きゅうり	サツマイモネコブセンチュウ	定植前	ベルマン法(土壌25gあたり)	2期幼虫数2頭以上、根こぶ程度40以上	定植前		北海道
すいか	ハダニ	着果期	見取り調査	寄生小葉率30%または2頭/小葉以上	即時	(要防除密度の目安)	兵庫県

要防除水準(野菜)

作物名	病害虫名	調査時期	調査方法	要防除水準	防除時期	備考	都道府県
すいか	ナミハダニ	果実肥大初期～収穫盛期	上、中、下葉各5葉ずつ雌成虫寄生数を調査する	5.4頭/葉/日	即時	被害許容水準を5%減収とした場合	和歌山県
すいか	ハダニ	果実肥大期	見取り調査	寄生葉率64%または10頭/小葉以上	即時	(要防除密度の目安)	兵庫県
トマト	オンシツコナジラミ	随時	見取り調査	1葉あたり60頭以上	即時	果実のすす病発生率10%の目安(要防除密度の目安)	兵庫県
トマト	オンシツコナジラミ	随時	黄色粘着リボンによる捕獲	1日あたり捕獲数36頭以上	即時	果実のすす病発生開始の目安(要防除密度の目安)	兵庫県
トマト(施設栽培)	オンシツコナジラミ	定植後	誘殺虫数:黄色粘着版(100mm×257mmの黄色板に金龍スプレーを吹付)を100株あたり1個の割合(20個/10a)で吊り下げ(トマトの30cm上の位置)、誘殺虫数を調査する。	1～10頭/週(天敵利用施設)	即時(天敵放飼)		広島県
トマト	タバココナジラミ	随時	見取り調査	幼虫数が1葉あたり80頭以上	即時	被害が生じる密度【果実着色異常】(要防除密度の目安)	兵庫県
トマト	サツマイモネコブセンチュウ	定植前	ベルマン法(土壌25gあたり)	2期幼虫数2頭以上、根こぶ程度40以上	定植前		北海道
トマト	マメハモグリバエ	随時	見取り調査	幼虫30頭/株以上	即時	10%減収の目安(要防除密度の目安)	兵庫県
ピーマン	ミカンキイロアザミウマ	随時	黄色粘着トラップ(7.5cm×12.5cm)による誘殺	10頭/日	即時	(要防除密度の目安)	兵庫県
ピーマン	ミナミキイロアザミウマ	随時	見取り調査	1頭/10花	即時	(要防除密度の目安)	兵庫県
ピーマン	ミナミキイロアザミウマ	全期間	成虫数、見取り(50花)	0.1頭/花	即時		宮崎県

要防除水準(野菜)

作物名	病害虫名	調査時期	調査方法	要防除水準	防除時期	備考	都道府県
ピーマン(施設)	ミナミキイロアザミウマ	開花期～収穫期	100花あたりの成虫数を調査する	10.5頭/100花	即時	被害許容水準を5%減収とした場合	和歌山県
ピーマン	ハスモンヨトウ	随時	フェロモントラップによる誘殺	150頭/旬	即時	(要防除密度の目安)	兵庫県
ピーマン	ハスモンヨトウ	随時	見取り調査	3齢幼虫4頭/10平方メートル	即時	(要防除密度の目安)	兵庫県
なす	モモアカアブラムシ	随時	見取り調査	50頭/葉	即時	(要防除密度の目安)	兵庫県
なす	ミナミキイロアザミウマ	-	見取り調査	果実にシルバリングの発生	即時		山口県
なす	ミナミキイロアザミウマ	随時	見取り調査	1頭/10葉	即時	(要防除密度の目安)	兵庫県
なす(施設)	ミナミキイロアザミウマ	生育期～収穫期	100葉あたりの成・幼虫数を調査する	86頭/100葉	即時	被害許容水準を5%減収とした場合	和歌山県
なす	ハダニ	随時	見取り調査	施設栽培:5頭/葉、露地栽培:2頭/葉	即時	(要防除密度の目安)	兵庫県
なす	ハスモンヨトウ	随時	フェロモントラップによる誘殺	旬あたり150頭以上	即時	(要防除密度の目安)	兵庫県
アスパラガス	ネギアザミウマ	発生期	払い落とし、1圃場あたり数ヶ所	1ヶ所あたり1～5頭/10×20cm板上	即時		香川県
いちご	アザミウマ類	発生期	見取り調査	成虫の寄生花率10%	即時		香川県
いちご	ミカンキイロアザミウマ	随時	払い落とし	10頭/30花房	即時	(要防除密度の目安)	兵庫県
いちご	ハダニ	随時	見取り調査	寄生小葉率20%または1頭/小葉	即時	(要防除密度の目安)	兵庫県
ごぼう	キタネグサレセンチュウ	播種前	ベルマン法(土壌25gあたり)	5頭以上	播種前		北海道
ごぼう	キタネコブセンチュウ	播種前	ベルマン法(土壌25gあたり)	2～3頭以上	播種前		北海道
たまねぎ	ネギアザミウマ	随時	見取り調査	50頭/株以上	即時	(要防除密度の目安)	兵庫県

要防除水準(野菜)

作物名	病害虫名	調査時期	調査方法	要防除水準	防除時期	備考	都道府県
たまねぎ	ネギアザミウマ	4月～5月	見取り調査	50頭/株以上	即時		山口県
たまねぎ	ネギアザミウマ	6月上旬から	見取り調査(10～20株、5日間隔)	食害程度指数2.5(大多数の株にわずかな食害が認められる)・食害程度指数2.5に満たない場合は7月10日	1回目:即時・以降10日間隔で7月20日まで	発生対応型防除体系:防除開始期の目安	北海道
たまねぎ	白斑葉枯病	6月上旬から	見取り調査(生育の良い畦を片道100株(畦長12m)往復200株調査)	明瞭な病斑の出現	1回目:初発確認後直ちに(初発の5日以内)・2回目以降:15日間隔・散布終了時期:倒覆期の15日前	発生対応型防除体系:防除開始期の目安	北海道
たまねぎ	べと病	3月	見取り調査	10aあたり越冬罹病株3株以上(越冬罹病株率0.01%以上)	3月下旬～4月上旬	(要防除密度の目安)	兵庫県
たまねぎ	べと病	3月	見取り調査	越冬罹病株数が2～3株/10a以上	3月下旬～4月		山口県
にんじん	キタネグサレセンチュウ	播種前	ベルマン法(土壌25gあたり)	5頭以上	播種前		北海道
にんじん	キタネコブセンチュウ	播種前	ベルマン法(土壌25gあたり)	2～3頭以上	播種前		北海道
根深ねぎ	ネギアザミウマ	収穫60日前	見取り調査	被害葉率50%以上	即時	(要防除密度の目安)	兵庫県
根深ねぎ	ネギハモグリバエ	収穫60日前	見取り調査	被害葉率50%以上	即時	(要防除密度の目安)	兵庫県